



syoun

新



2016 January

No.521

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

## 理念 135年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

#### 患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

#### 患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に  
医療機能の充実を図ります

#### 完結型医療

地域の医療機関との連携を行い  
安心できる医療の展開を行います

#### 社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療  
ボランティアの活動を行います

#### 医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の  
育成を行います



平成 28 年 1 月 4 日 朝 当院 3 階講堂にて

新年おめでとうございます。

年頭にあたり一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、昨年 11 月 20、21 日に人吉市カルチャーパレス・スポーツパレスで開催しました日本医療マネジメント学会第 14 回九州・山口連合大会は各方面から多くの著名な先生方に演者としてご参加いただき、また九州・山口はもとよりそれ以外からも医療・介護・福祉に従事されている皆様、そして行政関係、学生、ボランティアの皆様まで 2 日間で総数 1472 名の参加者を賜り、天候にも恵まれ盛会のうちに終えることができました。地方小都市での開催で様々な難題もありましたが皆様のご協力、ご支援、そして職員の頑張りにも深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、平成 26 年 4 月 1 日、独立行政法人地域医療機能推進機構 (Japan Community Health care Organization; JCHO) 人吉医療センターとして船出し、この春 3 年目を迎えます。今年も地域の皆様、医療機関、行政の皆様を支えられ JCHO の一員として地域医療の要として貢献できるように職員一同一丸となって邁進していく所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

目の前の問題として 2016 年の診療報酬がマイナス改定となり 4 月からの病院運営が心配されるところですが、現在策定中である地域医療構想、さらに新しい専門医制度等これから先の地域医療に大きく影響する問題についても地域全体で取り組んでいく必要があります。次の世代が安心して暮らせるような地域づくりのために、医療、介護、福祉、行政、医師会、大学と協力して進んでいかなければなりません。

今年の当院は、チーム医療や在宅医療の推進、医療介護福祉の地域連携、放射線治療装置・シンチグラム・CT などの整備、クラウド/ウェブ型電子カルテの導入、地域や県内の ICT ネットワークの開始など予定され忙しくなりそうです。

申年の今年、様々な状況を猿轡之勢で乗り切ろうと思っておりますので、どうか本年も皆様のご支援よろしくお願い申し上げます。

最後に皆様方にとって今年が素晴らしい年であることを祈念申し上げます。

平成 28 年 1 月吉日

JCHO 人吉医療センター 院長 木村 正美

## 訪問看護室挨拶



昨年の12月1日付けで、訪問看護室に異動になり2ヶ月が過ぎようとしています。20数年外科系でしか勤務経験がなく不安もありましたが、8階のスタッフと多職種、また地域のケアマネや施設の方々と連携し、協力を得ながらやっと慣れてきたところです。

患者さんやご家族は、退院して自宅に帰ることに不安をもっています。疾病を抱えても、住み慣れた自宅で療養し、自分らしい生活を続けられるように支援していかなければなりません。訪問して思う事は、自宅に帰ると元気になっていくことです。笑顔が増え家族との絆が深まり、やっぱり家はいいなと感じます。病院では患者さんを支える側ですが、訪問は患者さんやご家族に励ま

れたり、色々なことを教えて頂いたり、対等の立場でどっちが支えられているのかなと思う事が多いです。訪問看護室に異動になったばかりの時、自分の人生を話された中で「失敗は宝だよ」と言われた言葉がととても印象に残り、不安な私は「よし！がんばろう」と勇気づけられたことを思い出します。

お互いの信頼関係をつくり、悔いの残らない最期を迎えることができるように支援していきたいと思っています。

現在、利用者数は小児5名、脳外2名、外科10名、耳鼻科1名の18名です。訪問希望される患者さんがいましたら早めに連絡をいただき、入院中から関わりを持ってたらと思っています。まだまだ経験は浅いですが、みなさんの協力を得ながら、がんばってまいりますのでよろしくお願い致します。

訪問看護室 藤田 恵子

## 認知症看護ジェネラリスト研修 当院の認知症看護認定看護師 講師派遣

2013年度から始まった「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」でも言われているように、高齢化が進む中で今後増加が見込まれる認知症高齢者及びその家族が、地域において安心して社会生活を営むことができるような取り組みが求められています。認知症看護認定看護師として、今後は地域に向けた活動が重要となってきたと痛感しています。実際に多くの施設や病院から講義依頼を頂き、2011年から20か所以上の講義を行っている状況です。今回、認知症看護におけるジェネラリスト研修として、鹿児島県指宿市の指宿医療センターにおいて、認知症看護のジェネラリストを育成する研修の機会を頂きました。熊本県は認知症に関する政策が進んでおり、国内でもトップクラスにありますが、鹿児島県はまだ多くの課題を抱えている状況から、認知症対応力向上のために指宿医療センターの看護部が中心となり、今回研修講師の依頼を頂きました。

①認知症対応力向上に向けた講義 ②実際の認知症看護

認定看護師のコンサルテーションの体験講義 ③ジェネラリストの研修成果発表という内容で行いました。この3回の研修のため、指宿医療センターを訪れましたが、回を重ねるごとにジェネラリストの対象看護師はもちろんのこと、看護部長をはじめとした看護師の認知症看護対応力向上に対する意識の高さに頭が下がる思いでした。実際に認知症患者のためのデイケアを開始されたり、ジェネラリストの中から認知症看護認定看護師を目指し、今年度から教育課程での研修を受ける看護師もおり、今回の研修の成果を実感できる結果となりました。

今後も認知症看護の需要が高まっていくと考えられます。当院では地域を担う急性期病院であり、院内のみに限らず、さらに地域貢献に向けた取り組みも考えていきたいと思っています。



認知症看護認定看護師  
山口 幸恵

## 賢く節約・・・医療費控除について

自分や家族のために支払った医療費等の実質負担額が年間(1-12月)10万円(総所得金額等が200万円未満の人は「総所得金額等×5%」の額)を超えた場合、その超えた金額をその年の所得から差し引くことができます。控除できる金額の上限は200万円です。

また、介護保険を使った場合の介護費用(諸条件あり)、医療上必要と認められた紙おむつなども控除の対象となります。(おむつについては、医師の証明が必要です)「高額療養費」、「高額介護サービス費」、「高額医療合算介護サービス費」による払い戻しを先に受けた場合は、「それぞれで還付された金額を差し引いた額」が控除の対象となります。

当院では、領収書の再発行はおこなっていませんが、ご依頼があれば納入済み証明書を発行しております。(有料¥1,080)複数のご家族が当院に受診されている場合には、ご家族の方の医療費をまとめて納入済み証明書を発行することができますので、ご希望の際は会計係りにお申し付けください。

※ご家庭の所得によって控除する金額の計算方法が異なっていたり、所得税がかからない方は控除の対象にあたらないなど、条件は個々で異なりますので詳しくは税の窓口にお尋ねください。

国税庁ホームページNo.1120

医療費を支払ったとき(医療費控除)

<https://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1120.htm>

## 九州・沖縄ブロック DMAT 機能維持研修・DMAT 統括研修を受講してきました

去る 12 月 20・21 日に大分県庁で行われました『九州・沖縄ブロック DMAT 機能維持研修・DMAT 統括研修』を、当院医師 1 名・看護師 3 名・業務調整員 1 名で受講してきました。

DMAT とは災害派遣医療チームのことです。阪神・淡路大震災で災害医療について多くの課題が浮き彫りとなり、この教訓を生かし各行政機関、消防、警察、自衛隊と連携しながら救助活動と並行し、災害現場で医療を行う必要性が認識されるようになりました。“一人でも多くの命を助けよう”と厚生労働省により、日本 DMAT が平成 17 年に発足しました。

現在の活動では災害現場の医療だけでなく、災害時に多くの患者さんが運ばれる被災地病院の機能維持・拡充のための支援、首都直下型、南海トラフ地震などで想定される多数重症患者が発生した際に被災地外に搬送する広域医療搬送など、機動性・専門性を活かした多岐にわたる医療支援を行います。

今回の研修は実動訓練ではなく、南海トラフを震源とする M9.0 の地震を想定とした机上訓練を行いました。災害発生後、都道府県より出動要請が発令されると被害の状況などを情報収集し、各々のチームで移動手段や移動経路を判断して出動し、各地域に定められた DMAT 参集拠点に参集します。また DMAT は自己完結型で活



動することが原則なので、食料から寝泊りなど必要なのはすべて自己のチームで確保しなければなりません。東北大震災時のエピソードでバス会社から大型バスの提供があり寝床とさせてもらったことや、地域の婦人会から炊き出しの差し入れがあったことなどで、とても救われたという話があり、普段から地域とのつながりや助け合う気持ちが災害時にはとても力になると感じました。

今後、南海トラフ地震など九州地方でも大きな災害が予測されております。有事の際、九州自動車道山江 SA は DMAT 参集拠点となっており、各県から派遣された DMAT が参集するため、この地方は九州の災害に対し大きな役割を持ちます。その時は人吉球磨地域の方々の力がとても必要になってくると思います。自分自身のスキルアップを目指すとともに普段より地域が協力・連携し災害に備えておくことが求められていると感じた研修でした。

人吉医療センター DMAT 西山 博子

## くまもとメディカルネットワークが開始されました！

くまもとメディカルネットワークとは・・・公益社団法人熊本県医師会が運営する情報通信技術を用いて、病院、診療所、歯科診療所、薬局や介護施設などで患者さんの情報を共有するシステムのことです。(このシステムは現段階ではモデル事業であり、全ての医療機関や施設が対象となっているわけではありません)

**どんな利点があるの？**・・・患者さんの検査のデータ、画像データ、治療や処方内容などの情報を共有することでより質の高い効果的な医療や介護を提供することができます。

**全ての施設で情報が共有されるの？**・・・患者さんが指定された医療機関や施設のみが情報共有が可能です。また、指定された医療機関や施設内であっても、くまもと

メディカルネットワークに登録をした決められた職員のみが情報を閲覧することができます。

**費用はかかるの？**・・・ネットワーク参加に関しての患者さんの自己負担はありません。(通常の診療費、調剤費、介護費等は従来どおり発生します。)

当院はくまもとメディカルネットワークに参加医療機関となっております。

現在は、メディカルネットワーク参加医療機関との情報共有が必要と思われる患者さんを中心にメディカルネットワーク参加のご案内をしております。ネットワーク参加は患者さんの任意となっており、参加登録後、登録を削除することも可能です。

詳しくは、外来のスタッフまでお尋ねください。

## 個人情報勉強会を終えて

1/12、13 に全職員を対象に個人情報勉強会が開催されました。

病院では多くの患者さんの個人情報を取り扱います。

最近のニュースでも度々個人情報漏洩の話題を目にしますが、何がきっかけで起こるかわかりません。

業務中注意を行うことはもちろんですが、業務以外の場所でも発言などには注意していかなければならな

いと改めて実感しました。

セキュリティ対策として、メールの送信先を間違えない、添付ファイルにはパスワードを付ける、身分証明を確実にを行うなど、当たり前のように思えることを確実にを行うことが大切だと思いました。

今年からはマイナンバー制度も始まりましたので、自分の情報は自分で守ることを心がけていきたいと思いました。

医療福祉連携室 小田 薫子

登録医リレーエッセイ Vol.23

人吉医療センターの先生方またスタッフの皆様にはいつも大変お世話になっております。私は平成7年1月から球磨郡多良木町で内科、外科、胃腸科を標榜し開業医をしています。家庭の事情で大学の出向先から急遽地元に戻り、父の後を継いだ私にとって、人吉球磨の基幹病院である人吉医療センターならびに公立多良木病院は大変心強く、現在も何かとご面倒をおかけしています。社会情勢とともに医療を取り巻く環境も日々変化していますが、国の構想の中には、医療をその医療圏で完結させるというものがあるようです。そうであれば、地域の中核病院の使命はさらに重く大変なことだと存じますが、熊本市内まで高速道路を使って23個のトンネルを通らない

と行き着けないこの地において、人吉医療センターはこれからも私たち開業医にとって非常に重要な存在です。また、今後さらに需要増が見込まれる在宅医療につきましても、入院治療とあわせて患者のニーズに添った治療環境が不可欠ではないかと思えます。無床診療所のできることは僅かですが、今後とも連携の程よろしくお願ひ申し上げます。



渡辺医院  
渡辺 英明

ご通院中の皆様へ

当院では、患者さんに通常の診療はかかりつけ医療機関や地域の医療機関を受診していただき、より専門的な診察や高度な検査を必要とする場合に地域の医療機関の先生から当院へご紹介いただくシステムをとっています。また、現在当院に通院中の患者さんで、症状が落ち着いた患者さんは、かかりつけ医療機関を作っていただき、普段の治療はかかりつけ医療機関で受けていただくようお願いをしています。

これは医療機能の分化といい、国が医療の方針として推進している取り組みの一つです。

一つの医療機関では、医師をはじめとする職員の数や医療設備には限りがあり、提供できる医療には限界があります。医療機関の機能を分化することで、必要とする医療を広く地域の皆さんに提供することができます。

病気や怪我をした時には、辛く、不安があるのもですが、お一人お一人の患者さんが、「自分だけは」と考えず

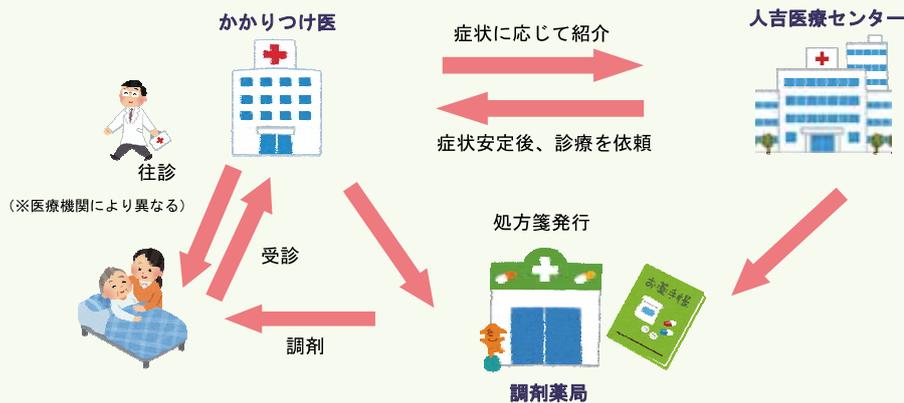
ご協力をいただくことで、人吉球磨地域の医療は成り立っています。

現在、地域の240名を越える先生方に人吉医療センターの登録医としてご登録いただき、各医療機関の診療体制を把握すると共に、当院の新導入機器や診療体制などを随時アナウンスし、開業医の先生方と当院が連携を行い患者さんが安心して医療を受けることができる体制を整えています。

医師から地域の医療機関におかかりいただくようお話しをさせていただいた患者さんで、「かかりつけ医療機関がない」、「どの医療機関に受診をしてよいのかが分からない」などがございましたら、お気軽に医療福祉連携室職員へご相談ください。医療機関を探すお手伝いをいたします。

身近な医療機関、薬局、お薬手帳などの情報共有ツールを利用し、上手に医療資源を活用しましょう。

JCHO 人吉医療センター 医療福祉連携室



第131回 清流ハートクラブ開催「食事会」

去る12月24日に清流ハートクラブを開催しました。年末の忙しい中にも関わらず、29名と多くの方々にご参加頂きました。食事についてということで、中にはご夫婦や親子で来られる方もいらっしゃいました。

今回は減塩バランス弁当を食べながら、脂質について中性脂肪・コレステロールを抑えるための食事や食品・調味料の選び方など管

理栄養士から話がありました。食事に気を付けられているためか、具体的な食事のとり方の質問や食品についての情報交換など活発におこなわれました。



清流ハートクラブ事務局 金栗 由佳

- 合志 秀一**  
恋愛頑張ります（笑）
- 下川 恭弘**  
丙申（ひのえさる）で還暦を迎えますが、隠居はまだ先のようです。
- 杉山 真一**  
「肝臓」「ラグビー」「マイファミリー」All outの精神でActiveにやります。
- 六反田 拓**  
頑張ります！
- 木淵 優子**  
育児とお仕事両立できるよう頑張ります！
- 名島 由起子**  
丙申（ひのえ・さる）健康で楽しい2016年にしたいです。
- 別府 るみ**  
今年は、のんびりとさる年を楽しみたいと思います。
- 平野 美穂**  
今年も笑顔が多く、幸せいっぱい的一年にできるよう頑張ります！！
- 平富 孝美**  
オトナ女子で頑張ります。
- 平生 愛**  
ゆっくり一年を楽しみます。
- 内布 美菜**  
頑張ります。仕事！
- 那須 智子**  
「健康に！そして楽しく！今年も頑張ります。」
- 大王 照美**  
七転八起、感謝と笑顔の年になりますように。
- 代々 三幸**  
健康第一、楽しい一年に。
- 村上 結美**  
今年も娘と共に親子マラソンに挑戦します
- 村口 ゆり**  
「大病することなく、感謝の気持ちと毎日を笑顔で過ごせますように」
- 早坂 朋子**  
何事にも目的と目標を持って、仕事も私生活も充実★意味のある人生になる様に頑張りたいと思います。
- 前田 八尋**  
仕事、ダイエットに頑張ります。
- 前田 恵美**  
気がつくとも人生の折り返し地点を過ぎ、次の申年までの12年もあるという間に過ぎるのでしょうか！家ではかかあ天下、病院では本性をかくし笑顔で優しく過ごしていきたいです。
- 西山 博子**  
「オトナ女子めざして頑張ります笑」
- 杉崎 琴巳**  
自ら進んでコミュニケーションを取る。
- 杉松 幸太郎**  
家族と自分のQOLを第一に考えた行動をする。
- 上田 恵美**  
感謝そして新たな出発
- 上村 慎作**  
安全第一、健康第一。
- 山本 彩加**  
今年3年目になるので、今まで以上に自覚と責任を持ち、患者さんの心に寄り添える看護師を目指して努力していきたいと思っています。
- 山田 孝幸**  
「健康第一に毎日笑顔で頑張ります！」
- 山口 秀光**  
頑張ります。今年も宜しくお願いします。
- 山元 美沙**  
今年も頑張ります。



- 阪本 裕子**  
楽しく仕事をし、余裕のある生活をしていきたい。
- 今井 志帆**  
ぼちぼち頑張ります。
- 告川 咲月**  
4匹の子ひつじと7人の侍のために、元気に一年頑張ります！
- 桑原 陽子**  
今年も頑張ります。
- 宮原 麻里**  
「日々成長し、充実した一年間を過ごします。」
- 宮原 るみ**  
「感謝を忘れず一日一日を大切に過ごします。」
- 吉本 大祐**  
「そろそろ健康に気がつかない、色々な事に頑張りたいと思います。」
- 岩崎 亮介**  
内視鏡室へ異動し4ヶ月が経ちまだまだ勉強不足もありますが、今年1年何事も前向きに頑張りたいと思います。
- 海氣 直子**  
「今年は忙しい1年になりそうです。前向きに少しずつ頑張っていきたいと思っています。」
- 鶴口 めぐみ**  
①AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース G2015を院内開催できるように計画します。②今年こそダイエット頑張ります！！
- 阿川 未佳**  
今年も仕事を一生懸命頑張ります。
- 山下 智子**  
社会人2年目の年も、日々成長できるように努力していきたいです。
- 米良 麻美**  
今年2年目になるので、仕事にも慣れつつ、入った頃を忘れないよう、常に初々しく過ごしたいです。
- 前田 望**  
今年も仕事一生懸命頑張ります。
- 福菌 亮平**  
「明るく楽しい一年になるように頑張ります。」
- 平田 真帆**  
たくさんのごことを吸収し、成長できるように頑張ります。
- 田中 大喜**  
今年も元気に頑張ります。
- 椎屋 香織**  
明るく笑顔で頑張ります。
- 佐田 雅**  
笑顔を忘れず、何事にも一生懸命頑張ります。
- 菰田 衣里子**  
今年も一年頑張ります。
- 北川 華奈江**  
毎日笑顔で頑張ります。今年もよろしくお祈りします。
- 那須 秀香**  
心にゆとりを持ち、人との出会いを大切にしていきたいです。

## 季節をお届けする行事食

年末年始はクリスマス、お正月と行事が続きますが、食事もしみのうちの一つですね。当院でも患者様に少しでも気分を味わっていただけるよう「クリスマスディナー」と「おせち料理」を提供致しました。

クリスマスディナーでは照りのよいローストチキンをメインに、サラダ、スープ、デザートまでフルコース一式を1食で楽しんでいただけるよう工夫しました。デザートのカークッキーは、制限食の患者様にも提供できるように人工甘味料マービーを使用し、低カロリーに仕上げました。多くの患者様に沢山の喜びのお言葉をいただき、私たちの顔までほころぶ次第でした。



クリスマスディナー



おせち料理

おせち料理はお雑煮から始まり、昼食にはだて巻きや紅白かまぼこ、たたきごぼう等の彩り豊かな品々を折に詰め、新年を祝いました。各々の品に込められた意味を感じて頂けたのではないのでしょうか。

今後も患者様に季節を感じていただけるよう、行事食を充実させていきたいと思っております。

栄養管理室 田口 ゆり

## 第62回人吉駅伝大会出場

平成27年12月13日(日)に人吉市内にて第62回人吉駅伝大会が開催されました。

この大会は、「大会を通し、本市の地域振興と参加者相互の交流・親睦を図ること」を



目的とされており、中学生・高校生・女子・一般(「人吉市内に住んでいる者」及び「人吉市内の会社等で働いている者」)の各部門で監督1名・選手6名・補員2名以内で構成され、20.14kmのコースを6名で襷をつなぎます。

今回、当院職員7名が1つのチームを結成し、応援者とともに大会に挑みました。結果は104チーム中69位でした。当日は、制限時間内にタスキをつなげなければならず、私たちのチームまでがギリギリでつなぐことができるといふ、感動的な場面も見られました。

大会に参加して、通常1人で走る大会とは違ってタスキをつなぐプレッシャーがありましたが、同時に仲間がいるという心強さも感じる事ができ良い経験となりました。

経理課 松村 亜夜

## 門松設置

去る12月20日、今年で10年目となる毎年恒例の門松作りに参加しました。

この門松は当院のOBでもある中村末太郎さん主導のもと、一番弟子の施設係山口さんをはじめとする、中村さんを慕う数名が毎年集い製作しております。今回は10年目のメモリアルイヤーということで人吉新聞からも取材が入りました。

製作は朝から職人気質の中村さんが厳しくも冗談を織り交ぜながら和気あいあいと行い、お昼には猪肉BBQと猪汁、たかば焼酎がふるまわれ、門松は現場で組立てるため20日はパーツ作りで終了。23日に病院玄関前で組立と設置、年が明けて1月11日に撤去しました。



年を重ねるごとに見事になる末太郎さんの腕前と手際の良さには終始感心します。お腹も心も満たされる門松作り、皆さんもぜひ参加してください。

臨床工学技士 宮原 俊介

## 新任紹介



藤田 亜紀 (5階病棟・看護師)

最終卒業校：南海看護専門学校

趣味：ミニバレーボール

好きな言葉：一日一笑

長所：立ち直りが早い

短所：大雑把

自分のコマーシャル：一日でも早く仕事を覚え、スタッフの皆様と仲良く仕事したいと思います。よろしくお願ひします。

## 1月のフレッシュマンセミナー報告

- 1月7日 乙益 真奈美 「気になるドラマ」
- 1月14日 菰田 衣里子 「ネパールについて」
- 1月21日 小田 薫子 「初めての42.195km」
- 1月28日 北川 華奈江 「別府について」

## 1月の勉強会報告

### 1月14日(木)第85回消化器カンファレンス

「当院における小腸出血について」

人吉医療センター 消化器内科 西村 淳先生

「当院における腹腔鏡下幽門側胃切除について」

人吉医療センター 外科 木下 浩一先生

### 1月29日(金)人吉・球磨化学療法研究会

「好中球減少に関する正しい知識」

熊本大学医学部附属病院 外来化学療法センター長

陶山 浩一先生